

独立行政法人労働者健康安全機構  釧路ろうさい病院

地域医療連携総合センターだより

No.48

Ⅰ. 病院長ごあいさつ

Ⅱ. 歯科口腔外科のご紹介

理念: 最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

発行: 2018. 1 釧路労災病院地域医療連携総合センター



病院長ごあいさつ



病院長 野々村 克也

新年明けましておめでとうございます。新たな年を迎え、皆様方には気持ちも新たに、お正月をお過ごしのことと存じます。

釧根地区唯一の地域医療支援病院である本院は、この地域医療連携総合センターを中心に患者さんや医療機関の皆様方にも風通しがよく見える形の医療サービスを心掛け、3年が経過しようとしております。この間、化学療法センター、血液浄化センターの開設、採血室の拡充など外来機能の充実に取り組んでまいりました。

本センターは前方連携、後方支援をはじめ、がんや各種医療などの相談窓口を設けており、患者さんが安心して医療サービスが受けられるよう体制を整えております。また、厚生労働省が提唱している

「(仕事をしながら、がん等の治療を行う)両立支援」についてもソーシャルワーカーを増やして対応を強化しております。さらに、「土曜脳ドック」を新設し、「人間ドック」における胃の検査を内視鏡に一本化するなど、勤労者に配慮した医療の展開を推し進めております。

現在、釧根地区の数多くの医療施設に登録医としてご支援いただいておりますが、今後も釧路市や医師会などを含め更に連携を強化し、地域の住民・医療施設にとって「利用しやすい病院」を目指して行きたいと思っております。

今年は戌年です。私共釧路労災病院は氷都くしろにあって、本センターを先頭に釧根地区の医療に更なる貢献すべく駆け回りしたいと思います。より一層ご支援・ご愛顧下さいますようお願い申し上げます。



新任医師紹介

平成 30 年 1 月 1 日付採用



脳神経外科

藤原 史明

得意分野 脳神経外科一般
出身地 福岡県

自己PR 福岡生まれ、九州育ちで寒いのは苦手ですが、釧路地域の皆様方のお役に立てるようがんばります。

所属学会 ・日本脳神経外科学会 ・日本脳卒中学会
・日本脳神経血管内治療学会

※平成30年1月1日より脳神経外科の常勤医は6名体制となります。

歯科口腔外科のご紹介

がん治療前後の口腔ケアで予防医療の強化

化学療法や放射線療法は、がん細胞を攻撃する一方で、正常な細胞にもダメージを与えます。抗がん剤を使用した場合、40%～75%の患者さんに口腔粘膜炎(写真A)が出現します。このような副作用があまりにもひどい場合には、抗がん剤の延期や投与量の変更など、がん治療に影響をあたえることもあります。

化学療法や放射線療法を始める前から口腔ケアを行うことで、炎症の症状が予防でき、症状が出現しても軽くてすむことがわかっています。このことから、当院ではがん治療の開始前から口腔ケアを行い予防医療の強化に努めております。

また、がん等の手術を受けられる患者に対し、手術前に口腔ケアを行うことで、術後の肺炎予防、頭頸部や食道の手術での術後感染予防、全身麻酔時の歯の脱落を予防できることがわかっています。当科では、手術を担当する医師と連携し、歯科衛生士が中心となって手術前後に口腔ケアを行うことに努めております。

当院では口腔機能管理件数が年々増加しており、定着しつつあるため、今後とも手術等に関連する合併症を防ぎ、少しでも患者さんが安心してがんの治療を受けていただけるように、歯科口腔外科の一員としてサポートできればと考えております。

かく のぶひろ

歯科口腔外科 角 伸博

写真
A



口内炎



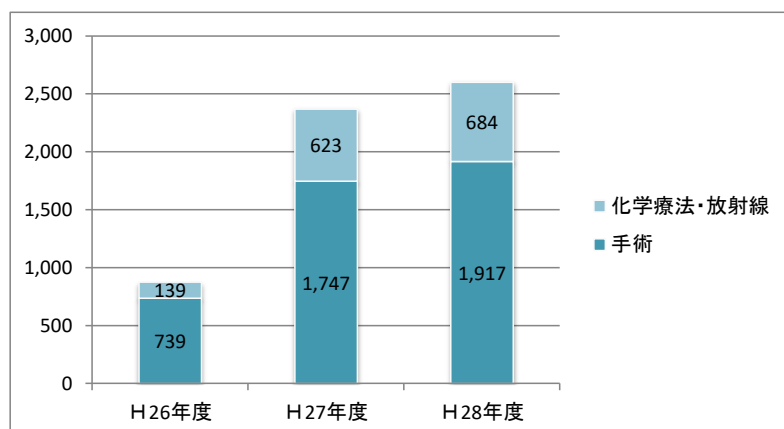
放射線性口内炎



重度歯周炎

周術期口腔機能管理過去3年間実績

単位：件



肺炎・術後感染などのリスクを軽減させることで、医療費の抑制と在院日数の適正化につながります。



歯科衛生士による口腔ケア風景

■ おわりに

歯科口腔外科では各診療科でのがん治療が円滑に進むように、口腔ケアを通してがん治療をサポートしております。歯科口腔外科に関連するご質問などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

※写真出典：これからはじめる同術期口腔機能管理マニュアル 永末書店 2013